



大阪南ブロック さかい浜支部
(株) Life Design 矢本 憲久



84万人の政令指定都市の玄関口である「堺東」そして、私の愛する堺東（※通称「ガシ」）の魅力をほんの少しお伝えさせていただきます。「堺東」と聞いてどれだけの人がピンとこられるだろうか。大阪の南部に位置するのだが、と言っても難波からは電車で12分という好立地。かつて堺東の駅前と言えば、商店街に渡る横断歩道は人でごった返し横断するのも一苦労という時代もあった。

そのような時代を思い返し「あのころは良かったなあ」と言う方もおられるが「ガシ」は決して寂れたのではない。いわゆる「都会」とは違うのかもしれないが、そんな都会や他府県からも大注目され取材のオファーを幾度と受けているガシがここにはある。

「ガシバル」だ。バルは沢山の街で開催されている食のイベントだが「ガシバル」は何が違うのか。それは、コミュニティ作りを最大の目的としているところだ。



バルは食のイベントなので飲食店が参加をするのだが、その運営は、ボランティアで作られている。この街を好きな人が集まり、この街のために活動を支える。自分の好きなこのガシに素晴らしい店があれば自分も楽しい。そして仲間が増える。まさにコミュニティだ。私もその一人。ガシで起業し、ガシに住んでいる。自分の街を今もそして将来も良くするには自分が主体的に関わっていかなければならない。

バルは食のイベントなので飲食店が参加をするのだが、その運営は、ボランティアで作られている。この街を好きな人が集まり、この街のために活動を支える。自分の好きなこのガシに素晴らしい店があれば自分も楽しい。そして仲間が増える。まさにコミュニティだ。私もその一人。ガシで起業し、ガシに住んでいる。自分の街を今もそして将来も良くするには自分が主体的に関わっていかなければならない。



南海電車で集合するお客様をよく迎えにいった堺東。昔観光の仕事をしていたものですからそのころの堺東駅が凛として周囲を圧倒していた記憶があります。今、街おこしはボランティアから始まり、本業の飲食店が負けずに動き出す。コミュニティパワーの「ガシバル」にチケット買ってちょっと行ってみたいくなりませんか。（編集西岡）